

東三河支部

11月例会

- ・日 時：令和3年11月14日（日）午前9時
- ・場 所：豊橋市嵩山町地内
- ・参加者：116名
（支部会員57名、豊橋市役所4名、嵩山町自治会55名）

東三河支部（鬼頭秀幸支部長）の11月例会は、豊橋市嵩山町地内「本坂道」にて不法に投棄された廃棄物の撤去作業を行いました。

当日は、支部会員、豊橋市役所職員、嵩山町自治会の方々が集合しました。新型コロナウイルスは一旦収束の様子を見せておりましたが、油断することなく感染症防止対策を万全に講じて開催しました。

関係者の開会の挨拶の中で鬼頭支部長は、「日曜日にも関わらず、多くの方がお集まりいただきありがとうございます。本日当支部の作業場所は崖の下に廃棄された不法投棄物の回収です。各自安全な作業に配慮し、地域の環境保全に努めましょう。」と述べました。

支部会員は、旧本坂トンネルからハイキングコースへ上がる手前の崖下にある多数の不法投棄物回収

のため、それぞれに崖下に降り作業を行いました。場所によってはロープを身体に巻いてさらに崖下に降りたり、チェーンソーで木に絡まった物を切るなど、数人ずつのグループとなり慎重に作業を行いました。

回収された不法投棄物はその場で分別され、フレコンバッグ30個に詰め豊橋市資源循環化センターへ搬入されました。作業後参加者全員に当支部からお弁当とお茶が手渡され閉会となりました。

年々不法投棄される場所を見つけにくく、危険な場所へ投棄されていると改めて実感しました。

- ・協力車両：ユニック車 3台
- ・ごみ撤去量：16㎡（可燃ごみ、廃プラスチック類、粗大ごみ等）

